

会社名: コダック株式会社
 担当部門: ドキュメントイメージング アンド ビジネスプロセスサービス事業部
 所在地: 東京都千代田区神田駿河台 2-9 研究社ビル (〒101-0062)
 電話番号: 03(5577)1380 FAX: 03(5577)1333

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
 (事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
 9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
 又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
 これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
 又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.000000005534/版
 承認日: 2007年5月16日
 作成日: 2007年06月05日

1	製品名
---	-----

静電クリーニングクロス(staticide wipes)

CAT No.896 5519

原産国: アメリカ合衆国
 製品の使用用途: 洗浄剤、工業用

2	危険・有害性の分類
---	-----------

GHS-分類

危険有害性クラス	危険有害性区分	暴露経路(標的臓器)
引火性液体	区分2	--
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A	--
生殖細胞変異原性	区分1B	--
生殖毒性	区分2	--
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1	-- (標的臓器: 中枢神経系, 腎臓, 全身毒性)
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分3	-- (標的臓器: 上部気道系)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分2	-- (標的臓器: 血液, 肝臓, 脾臓)

GHS-ラベリング

含有:
 イソプロピルアルコール (67-63-0)

シンボルマーク:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

引火性の高い液体および蒸気。
 強い眼刺激。
 臓器の障害。
 (中枢神経系、腎臓、全身毒性)
 長期暴露または暴露の繰り返しにより臓器を損傷することがある。
 (血液、肝臓、脾臓)
 呼吸器刺激を起こすおそれ。
 生殖力または胎児の損傷が疑われる。
 遺伝的欠陥を引き起こすことがある。

注意書き:

容器をしっかり閉めておきます。
 熱、スパークおよび裸火から遠ざける。 - 禁煙。
 容器および受槽には接地 / 電気良導体アースを取り付ける。
 電気 / 換気 / 照明設備は防爆タイプを使用。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 火花を発生しない工具を使用すること。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 眼/顔面保護具を着用します。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
 粉じん/フェーム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく洗うこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 火災の際は、適切な媒質を使用して消火してください(SDS参照)。
 暴露した場合:医師に連絡すること。
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用
 していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 取り扱った後、手を洗うこと。
 施錠して保管すること。
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
 内容物 / 容器の廃棄は地域の法規則に従い行う。

3 | 物質の特定

混合物

成分	重量%	CAS No.	化管法 番号	安衛法 番号	化管法 番号
水	35 - 60	7732-18-5	適用外		
イソプロピルアルコール	30 - 40	67-63-0	適用外	2-(8)-319	(2)-207
エタノール	0.1 - <1	64-17-5	適用外	(2)-202	(2)-202

4 | 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら医療手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 石けんと水で洗い流す。症状が現れたら、医療手当てを受ける。
- 誤飲した場合 : コップ1～2杯の水を飲む。医師のアドバイスを受ける。

5 | 火災時の措置

- 消火手段 : 散水、二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤
- 火災時の特別対応手段 : 呼吸用保護具と保護衣を着用する。
- 製品の燃焼の危険性 : 炭素酸化物
- 異常火災／爆発の危険性 : 引火性の高い液体と蒸気。物質には可燃性の高い溶剤が含まれており、容器の上部に溜まる事があります。蒸気は空気より重く、床に沿って広がる可能性がある。蒸気は空気と混合して爆発性になることがある。蒸気やガスが爆発濃度になるのを防ぐ。

6 | 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 推奨している保護具の使用については第 8 章を参照してください。
- 環境に対する注意事項 : 漏出したものは下水溝に流れ込まないようにします。
- 除去方法 : 発火源となるものを取り除く。不活性材に吸収させ、化学物質廃棄用の容器に回収する。

7 | 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 粉じん/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸い込まないこと。換気が十分な場所でのみ使用する。眼、皮膚、衣服への付着を避ける。この製品の使用時には飲食、喫煙をしないこと。取扱い後はよく洗う。
- 火災や爆発の防止 : 容器をしっかりと閉めておきます。熱、スパーク、裸火から遠ざける。禁煙。容器や受槽には設置/電気良導体アースを取り付ける。電気、換気、証明設備は防爆タイプを使用する。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生しない工具を使用すること。換気が十分な場所で使用すること。参加物質に接触さ

保管 : せないこと。可燃性の液体を保管、取扱い、分配、廃棄する場合には、国、県、各地方自治体が定める規則に従うこと。
 : 施錠して保管すること。容器を密栓して換気の良い場所に保管する。涼しい場所、換気の良い場所で保管する。不適合物質のそばに置かないでください(不適合の章を参照)。

8 | 暴露防止措置

就労上の暴露管理

化学品名	規制リスト	値の種類	値
イソプロピルアルコール	JPISHL OEL	許容濃度(TLV):	200 ppm
		最高曝露値:	400 ppm
イソプロピルアルコール	JPISHL OEL	時間加重平均	980mg/m3
	ACGIH		200 ppm
	ACGIH	短期間の曝露限度	400 ppm

換気 : 一般的に換気の良い場所で取扱う。就労上の適切な暴露限度を超えないように適切な換気が必要です。換気の時間は環境に合わせる。特殊な環境下では補助的な排気やクローズドシステム、防毒マスクの使用が必要な場合があります。

呼吸器の保護

: 必要なし。

眼の保護

: 側面にシールド(ゴーグル)の付いた安全メガネを着用。

皮膚の保護

: 長期、あるいは繰り返し皮膚が物質に接触する可能性がある場合、不浸透性の手袋を着用する。

浄化する設備

: 使用条件に適した洗浄設備。

9 | 物理・化学特性

外観 : 固体(拭う素材に予め浸してあります)
 色 : データなし
 臭気 : 好ましい臭気
 比重 : 0.99
 蒸気圧 : データなし
 蒸気密度(空気 = 1) : 2.1
 重量による揮発性留分 : < 5%
 水溶性 : 適用なし
 pH : 適用なし
 引火点 : -6.7~23°C(19.9~73.4°F)

10 | 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 通常の状態では安定
 不適合物質 : 強い酸化剤
 危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件では特になし
 危険重合物質 : 発生しない

11 | 有害性情報(暴露の影響)

一般的アドバイス : 生殖力または胎児の障害の恐れがある。遺伝的欠陥を引き起こすことがある。
 吸入 : 呼吸器刺激を起こす恐れあり。イソプロピルアルコールの高濃度の蒸気に長時間曝露されると、

眼、鼻、咽喉の刺激や、昏睡状態になる恐れがある。
 眼 : 強い眼刺激。
 皮膚 : 長期間または繰り返し接触すると乾燥、ひび割れ、刺激を起こすことがある。
 摂取 : 推奨している取扱いで低度に健康を害する場合があります。

イソプロピルアルコール(CAS 67-63-0)のデータ:

急性毒性データ:

- 経口 LD50(ラット): 5,800 mg/kg
- 吸入 LC50(ラット): 12,000mg/1/8 hr
- 経皮 LD50: > 2,000 mg/kg
- 皮膚への刺激: 軽微
- 皮膚への刺激: 皮膚への刺激なし(繰り返し使用)
- 眼への刺激: 軽微から中程度

12 | 環境影響情報

この物質が環境に及ぼす影響について、試験は行われていない。

以下の特性が調剤の成分から見積もられています。

毒性の可能性 :

魚類への毒性(LC50)	:	> 100mg/1
ミジンコへの毒性(EC50)	:	> 100mg/1
藻類への毒性(IC50)	:	> 100mg/1
他生物への毒性(EC50)	:	> 100mg/1(汚泥)
残留性/分解性	:	中程度
化学的酸素要求量(COD)	:	約 921 gm/1
生化学的酸素要求量(BOD)	:	約 584 gm/1

13 | 廃棄時の注意

排出、処理、排気は国、県、各地方自治体の法規制に従います。容器が空になっても残留物が付着しているため、容器に張っているラベルの指示に従います。

14 | 輸送上の注意

輸送については、規定がありません。
 輸送の詳細については、以下の URL にアクセスしてください。

www.kodak.com/go/ship

15 適用法令

下記参照。

規制リスト	通知状態	その他情報	掲載なし
EINECS	y (ポジティブ リスティング)	-	
TSCA	y (ポジティブ リスティング)	TSCA にあり	
AICS	y (ポジティブ リスティング)	-	
DSL	y (ポジティブ リスティング)	この製品の校正要素は全てカナダ DSL リストに掲載	
ENCS (JP)	y (ポジティブ リスティング)		
KECI (KR)	y (ポジティブ リスティング)		
PICCS (PH)	y (ポジティブ リスティング)		
INV (CN)	y (ポジティブ リスティング)		

AN(ネガティブ リスティング)は、1つ以上の内容物が一般の有害物規制リストに掲載されていないか、例外となっている。

分類 : 急性毒性物質

16 その他

本書記載の情報は如何なる保障の責任を負うものではありません。此田のデータは他の情報の補助的な情報でしかありません。これらのデータで情報を集め、確認のためには全てのソースから情報を収集して物質の適切な使用と廃棄、社員や顧客の安全と健康、環境保護について確認し、その適用性と完全性について個々に決める必要があります。使用駅に関する情報はガイダンスのみを目的としており、説明書に基づいた製品の正しい混合と使用を元にしています。